

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

三田市長 田村 克也

市町村名 (市町村コード)	三田市 28219
地域名 (地域内農業集落名)	広野 (宮脇)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年2月4日 (第5回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

遊休農地の活用方法。

(2) 地域における農業の将来の在り方

主要作物は水稻作であり、新規作物の導入も考えるが、維持継続可能な作物の検討を進めたい。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	13.1 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	10.6 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とします。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手間で集約化可能と判断する場合は、集積する方向で進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
段階的に検討する。現状は10年以上は現担い手で維持可能。
(3)基盤整備事業への取組方針
宮脇区の農地の現状で大区画化等の可否については、相談させていただきたい。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
自治体、JAと連携して取り組みたい。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
現状のJAからの案内の範囲内で考えている。(防虫、防除等)

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input checked="" type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

--